

Home Sweet Home

~フェイト編5~

Presented by IV VA SHIN



FOR ADULT ONLY



旦那…さんっ

ティアナ…
ちゃん!?





す…少し
だけですから

え!?

グッ



いや…さすがに
これは…っ

は

は

は



だ…旦那…さんっ

は

!?



ティ：
ティアナちゃん：
これ以上は…その
マズイって…っ

フェイトが横で
寝てるのにこんなコト



一回お風呂に入らなきゃ…

俺みたくお風呂に入らなきゃ…



ん…っ

で…でも…ティアナちゃんも
こんなに苦しんでる…



これは助けてほしい…



だからこれは…

浮気じゃ…



—あなた—



ごめん！
ティアナちゃん！

きゃっ





ふう……



ティアナちゃん

ごめんな

……

なんとか助かった……

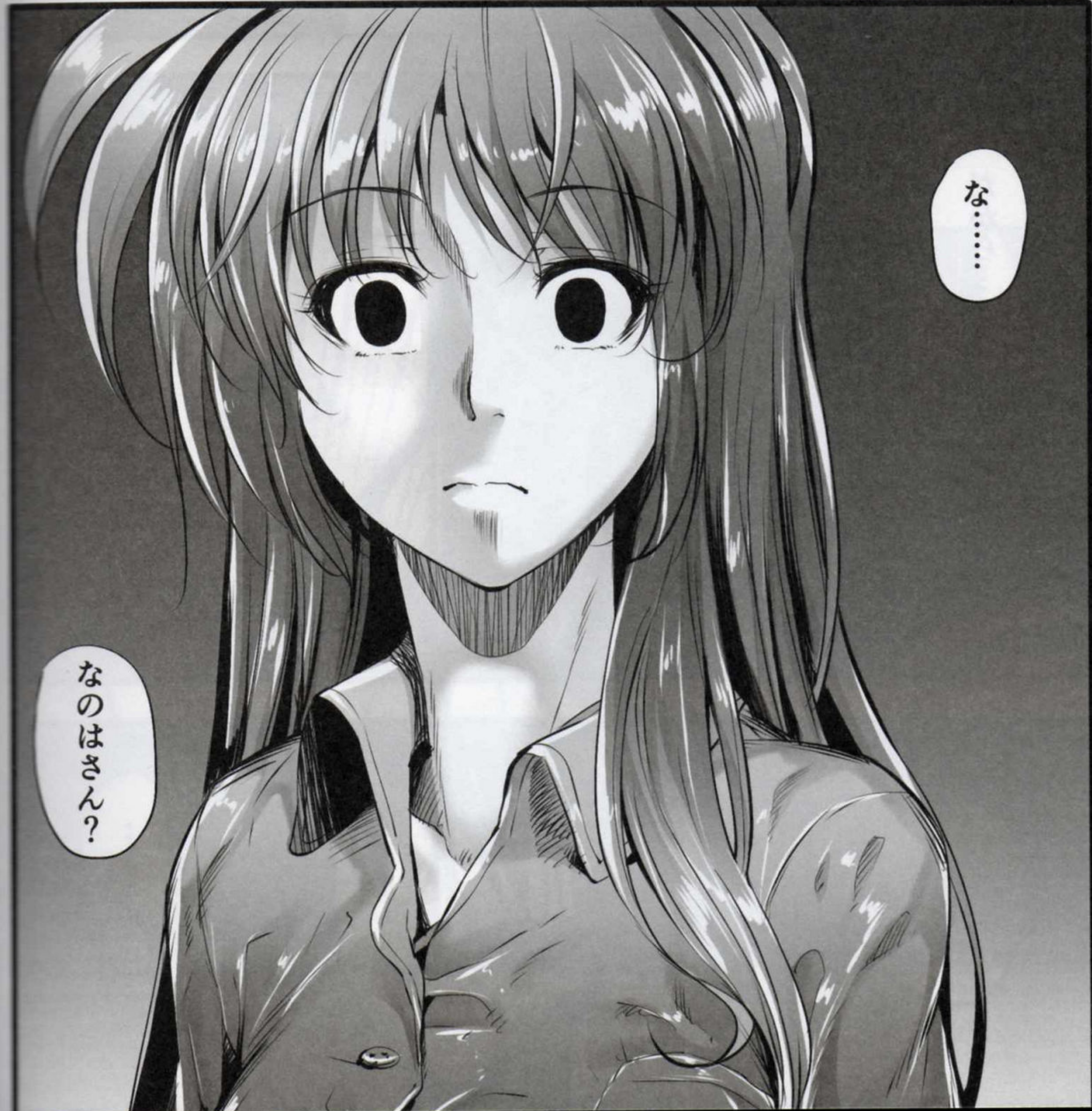


もーさっきから大きな声出して……

どうし……

びく

ニッ



な……

なのはさん？

ティアナが気絶してるのをいいコトにボタンに手をかけ、セクハラをしようとしているの図 (なのは視点)



あ……あの

あせ……





い...いや...
これはその...

深い訳が...

ダラ
ダラ

なあ!
ライン?



自業自得です!

ちよ...っ
ライン!?

ライン

ア



それで...
本当の目的は?
フェイトちゃんの
旦那さんを試すため
だけじゃないんでしょう?

流石にはやても
いたずらだけで
ここまでしないよね?

相変わらず
鋭いなあ...二人とも

.....

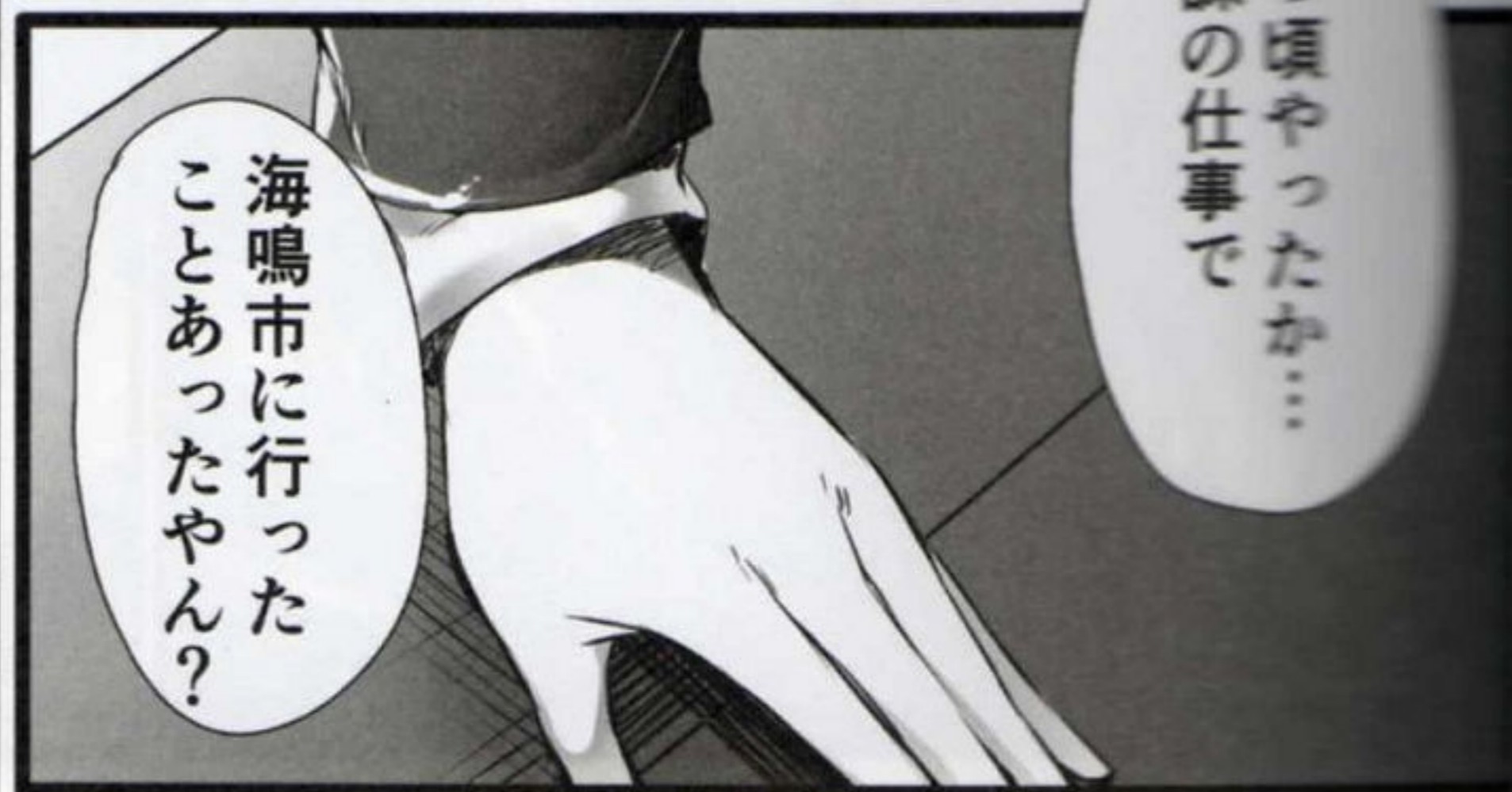


あの時…ティアナが
家族なんて羨ましく
ない…

一人は慣れてる
からって…
言ったららしいんよ…

スバルから誰にも
言わないでって
言われてたんやけどな？

!



いつ頃やったか…
六課の仕事で

海鳴市に行った
ことあったやん？



確かに…家族がいなく
ても一人で生きていける
人はいる

…でも…私は
寂しかった…

だから…ティアナには
意地張らないで…
家族は何も親兄弟だけ
じゃない…

自分でも作れるん
だってこと
知って欲しかったんよ



私たちにはそれぞれ
家族がいるから
分かると思うんやけど

やっぱり…
家族がないのは
友達がいない以上に
寂しいやんか…



はやてちゃん…

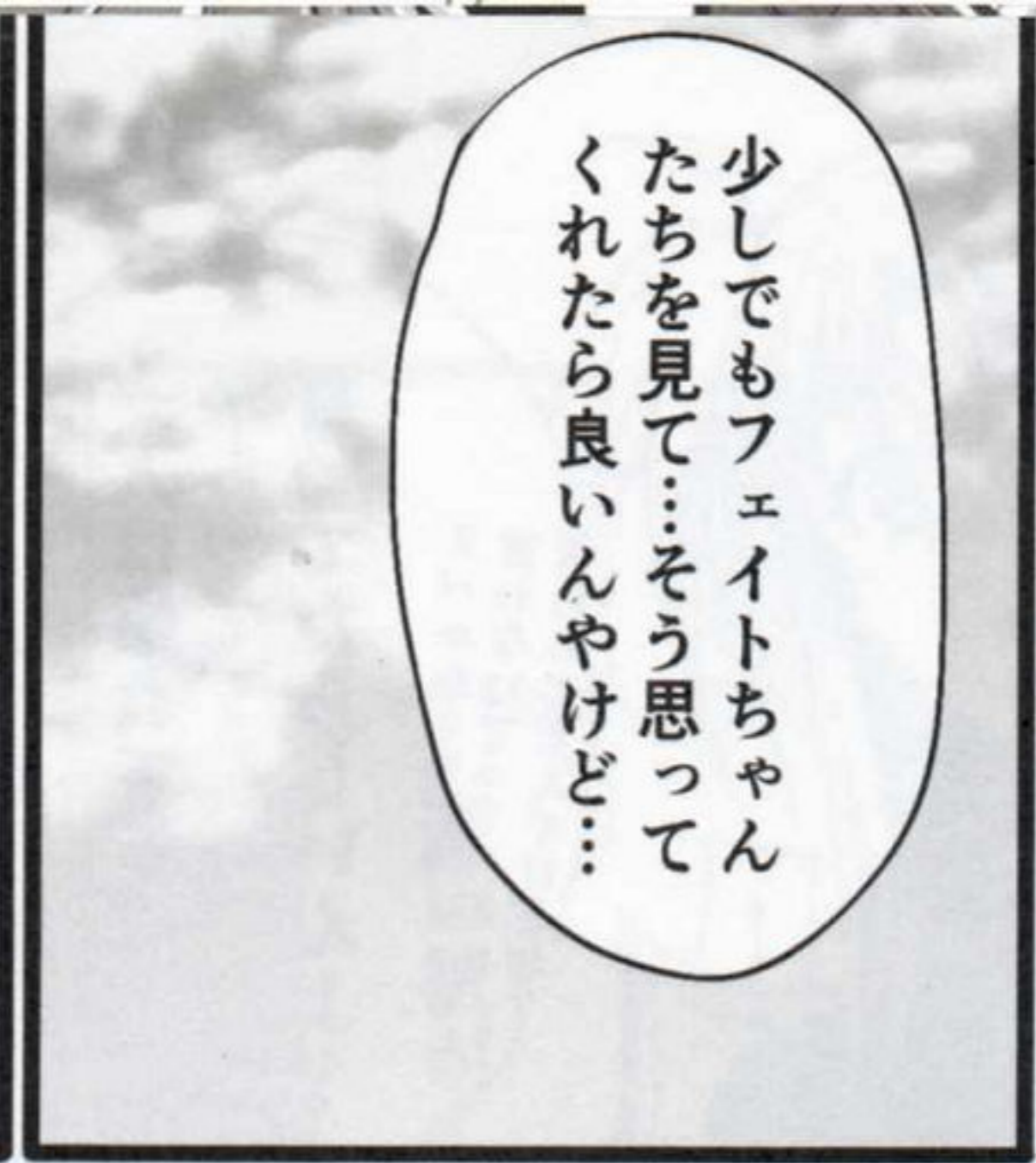
はやて…



強がってた——



……



少しでもフェイトちゃん
たちを見て…そう思って
くれたら良いんやけど…



俺はフェイトのことを
一番に考えて
あげないといけない
から…っ

昨日旦那さんに言われた
フェイトさんへの気持ち



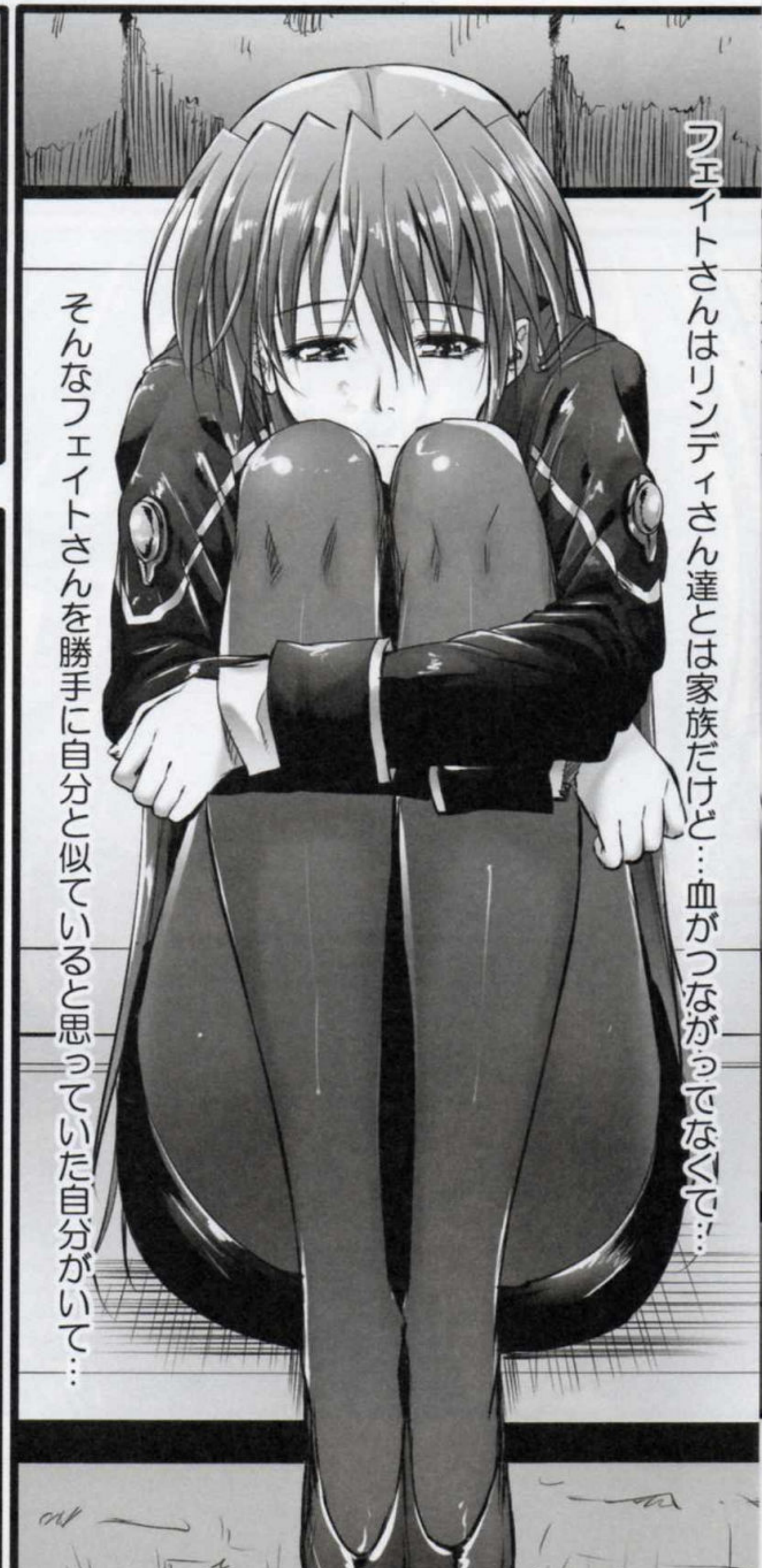
ドア越しに聞いてしまった
フェイトさん達の会話…

大ー好き



フェイトさんは
結婚してから

今まで以上に
幸せそうで…



フェイトさんはリンディさん達とは家族だけど…血がながってなくて…

そんなフェイトさんを勝手に自分と似ていると思っていた自分がいて…



六課を通して…たくさん友人が出来て
一人でも大丈夫と思っただけど…

フェイトさんたちの言葉で
羨ましいと思っただけど…



司令の思惑通りに
なっちゃったね♪

旦那さんにも
断られちゃったし

うっさい

ていうかアンタ...
ワインに罏葉が入ってるって
知ってたでしょ...まったく



ティアーアッ



だってティアー
かわいいもん!

私が男の子だったら
絶対ほっとかない!



スバル...



私はね!

いつかティアーにも
素敵な男の子が
現れると思うよ!

私にもいつか...そんな人が

それまで私が
恋人になって
あげるね♪

ちょ...
何言ってるのよ!



でもホント…

ティアナが
君に迫った時
どうしようって
思っちゃった

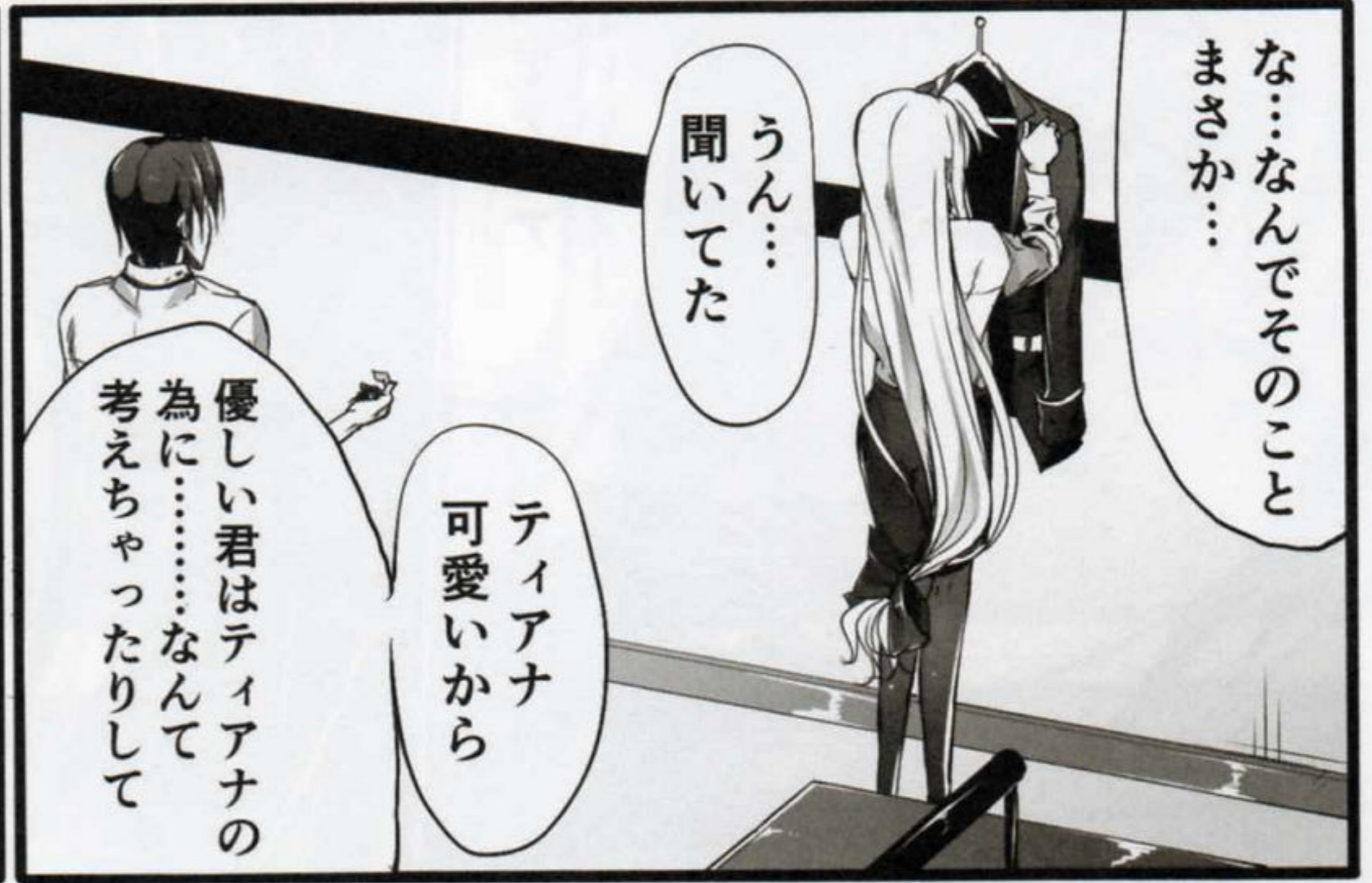
ちょっと強引
だったけどね…

はやてさん色々
考えてたんだな—



なんか…恥ずかしいな
聞かれていたとは…

ううん！私…
嬉しかったよ！



うん…
聞いてた

な…なんでそのこと
まさか…

ティアナ
可愛いから

優しい君はティアナの
為に……なんて
考えちゃったりして



君を好きになった
時のコト思い出して…

ドキドキ
しちゃった…



フエイト...

んっ

んっ

っふ

にやる

あ...

むに...

ま...待って



今日は... 私...から...



あ…びくって…
気持ちいい？

く…っ

あむ…

んっ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ…



うあ…フエイト
また上手くなって
やばい…っ

君が…どこが弱いとか
気持ちが良いとか
いつも考えてるんだ
から…っ



そ…そんなに
されたら…っ
ストップストップ！



ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

んっ



あ…っ



そ…そんなに
広げないで…

俺のしゃぶった
だけで濡れてる…



んんっ

フェイトのえっちな
ところ…
もっと見せて？

くふう

あーっ

いつも仕事してる
机でこんな...



すごくいけない
コトしてる...っ

ピク

びく

フェイトの愛液で
机の上がびしょびしょ
になってるよ？



お

びしょ

びしょ びしょ

びしょ

い...
言わないで...っ



あーっ



君の舌...
気持ち... イイツ

出てくる

びしょ

びしょ

びしょ



え...
どうして...



びしょ



お風呂の時みたいに
意地悪する...

ま...また



イキそうに
なっちゃった？

どうして
欲しい？

？



暑かったし
それに…

う…うん



フェイト…
ノーブラ…?

!



この方が君が
興奮できるかなって…

だから…
来て?



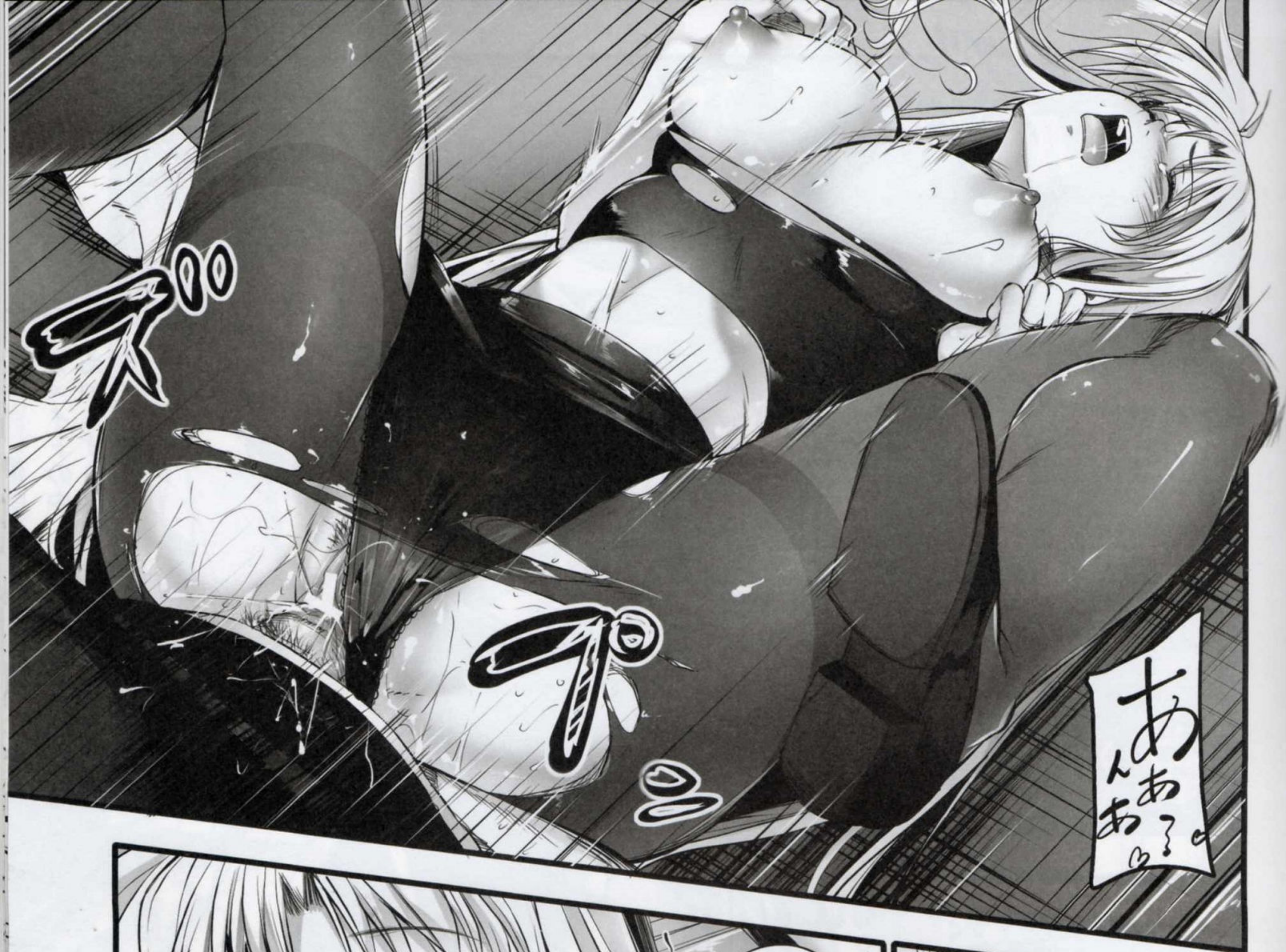
あ…っ



んっ



フェイト!



あぁあ？



だから…
一緒に気持ちよく
……なる？



フェイト…
イっちゃた？



でも…
大丈夫…っ

す…少し



フェイトの中に
えっちする度に
きつくなつて



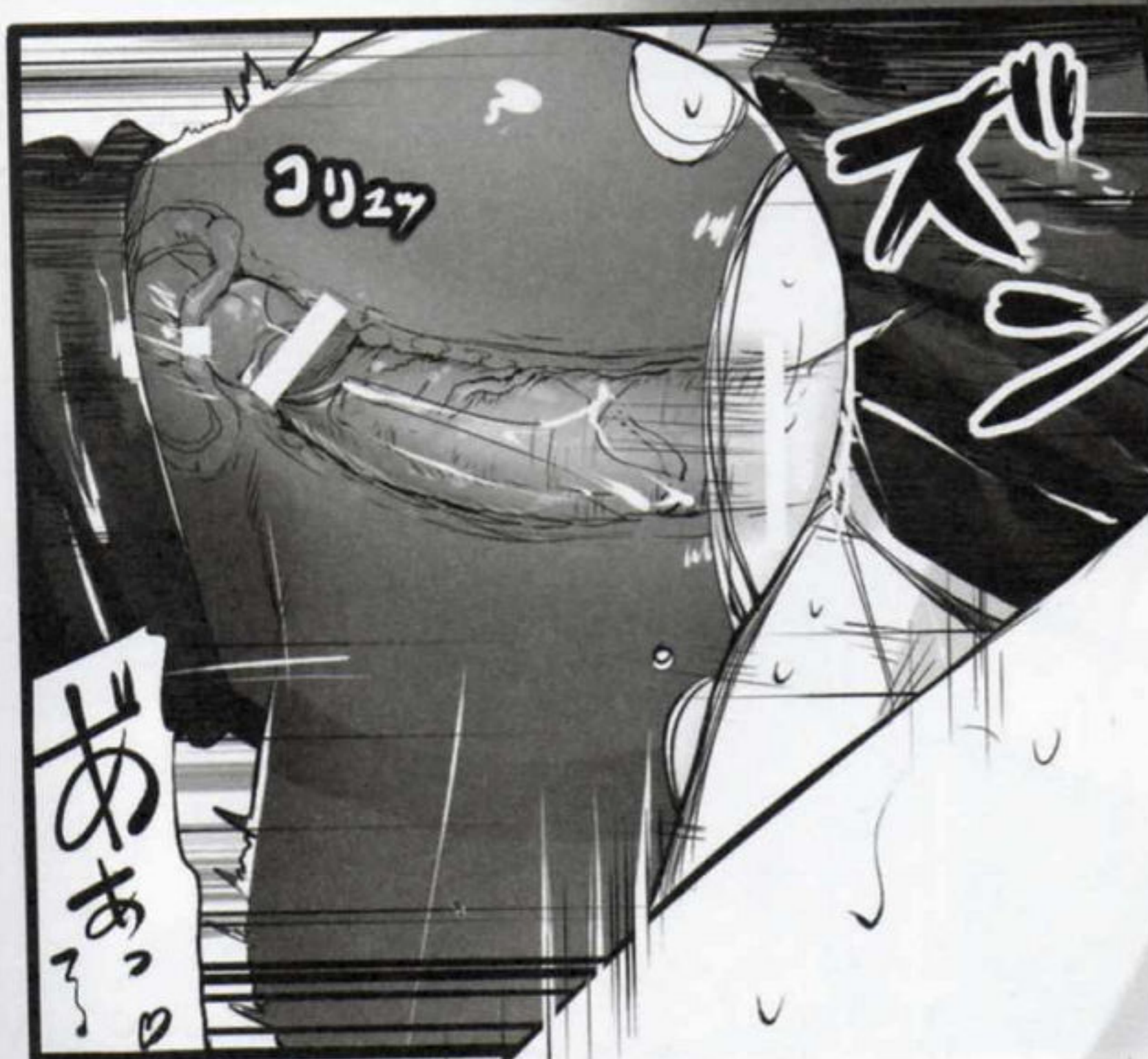
だ...

だ...
だ...
だ...



私...君のしか
知らないから...っ

どんどん
いやらしくなる



アッ
アッ



アッ
アッ

奥…たくさん
突かれると

私の中が…
君の形になって

分かるよ
俺も！

フェイトの中が
俺の形に合わせる
ようにして
吸い付いてくるのがっ

ん

私…もうダメっ
我慢出来ないっ

ずっ
ずん
ずん

だから…
き…来てっ

ん

ん

ん

ん

ん

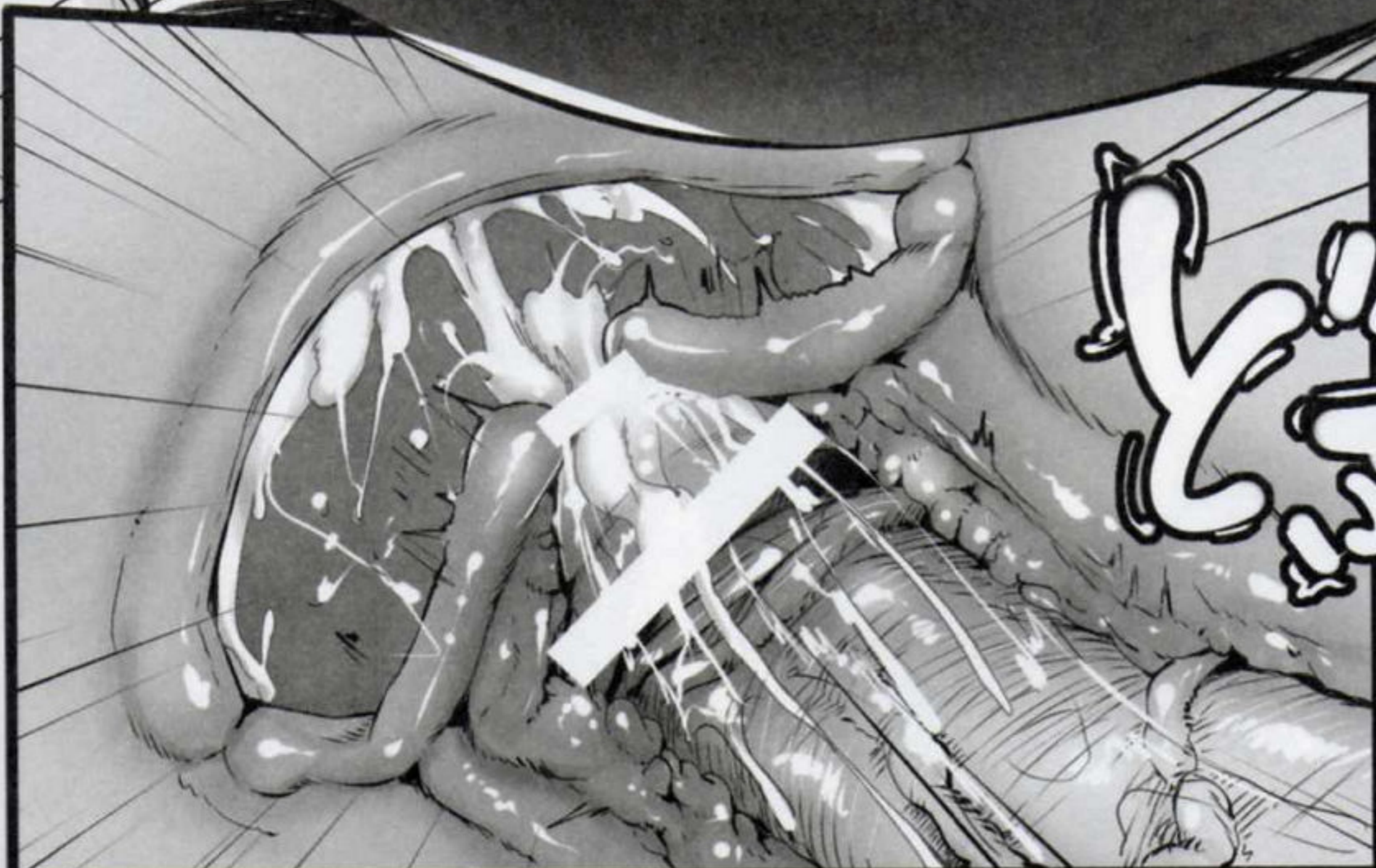
ん

ん

ん

一緒に…っ

ん



あのね？

うん？

今回の件で…私…
結婚して本当に
良かったなって
改めて思ったの

ティアナにも
少なからず家族の
良さが伝わったのも
あるし…

私は弱いから
きつと君にたくさん
甘えちゃう…

ああ…
そうだな

自分を傍で支えて
くれる人がいるって
あたたかいね…

でもね？
精一杯君のコトも
支えるから…



これからも
よろしくねっ



Home Sweet Home

～フェイト編5～

Presented by IV VA SHIN